



まちの話題あれこれ

1,381名の卒業生を輩出

奥高が開校30周年



◀ 記念式典の様子

北海道奥尻高等学校（校長・佐々木淳一・生徒75名）では、今年で開校30周年を迎えたことから、その記念事業として10月27日に同校で記念式典を開催しました。

同校は、昭和50年に北海道江差高等学校奥尻分校として開校、52年に北海道奥尻高等学校として正式に独立認可されて以来、今年で開校30周年という節目の年を迎えたもので、この間、島の唯一の高等学校として30期1千381名のぼる有為な人材の卒業生を輩出してきました。

式典は、約1年前からこの日のために発足・準備を進めてきた北海道奥尻高等学校開校30周年記念事業協賛会（会長・永洞博）が企画し、北海道教育庁関係者をはじめ、地元教育関係者、町理事者、町議会議員、教職員、在校生、同窓会員、PTA会員など多数の関係者が参列しました。

式典では佐々木淳一校長が、「生徒の真摯な努力、歴史と伝統を創り、守り育ててくださいました各位の情熱と並々ならぬご苦労、そして全島あげての温かいご支援に、深甚なる敬意と感謝の意を表します。今後とも高等学校設立当時の島民の思い・願いを忘れることなく、地域の温かいご支援・ご協力のもと、地域に根ざした高校として奥尻の未来・日本の未来を託す人材の育成を継承していきます」と式辞を述べられ、永洞博協賛会長の挨拶に続き、来賓として新村治北海道教育庁檜山教育局長、穴水正北海道高等学校長協会榎山支部長（北海道江差高等学校長）、和田良司町長、木村孝義同窓会長、後藤幸夫PTA会長が次々と祝辞を述べられました。

またこの席上で、初代の同校体育文化後援会長を務められた大きな功績を残された故・

工藤實氏（代理の工藤純氏）へ永洞協賛会長から感謝状が、さらには佐々木校長から永洞協賛会長へ感謝状がそれぞれ贈られました。

その後、在校生を代表して、原将史生徒会長が謝辞を述べ、参列者全員で校歌を斉唱して式典を終えました。この後会場を移して記念祝賀会が行われましたが、さら

に記念事業として今後、佐藤義則氏による記念講演会なども予定されています。

なお、同校開校30周年の記念事業を進めるにあたり、同校同窓会員やPTA会員はもとより、一般の方々や各企業などのみなさんから多くのご厚志を賜り、協賛会関係者一同、厚く御礼申し上げます。

北海道奥尻高等学校



▲ 記念祝賀会への出席者全員で記念撮影

# ★わが家の ★アイドル★



安達 寛さん（字奥尻）の  
長男 **矢** くん（3歳4ヵ月）

～両親からのメッセージ～  
みんなと仲良く、元気に遊んでね♡

写真左が小濱さん  
写真右が加賀奥尻支店長



## ★町政功勞で個人・団体を表彰

「平成19年度奥尻町町政功勞者等表彰式」が11月2日に奥尻町役場町長室で行われ、奥尻町表彰条例に基づき、功勞、善行、勤続表彰として個人8名、1団体の方々が登場されましたのでご紹介します。

### 功勞表彰 ◎小濱 亀一さん（73歳・字赤石）

平成3年に奥尻町議会議員に初当選以来16年の永きにわたり、その間、社会文教常任委員長などを歴任し、町政の枢機に参画した功績によるものです。

### 善行表彰 ◎江差信用金庫（創業83年）

平成19年2月22日、300万円の寄付の善行があった功績によるものです。

※なお、勤続表彰7名については、奥尻町役場職員の方々の功績ですので、掲載を省略させていただきます。

## ☆日ごろの成果に拍手喝采が

「平成19年度小・中学校音楽交歓会」が、11月7日に海洋研修センターで開催されました。各校の児童や生徒が日ごろの練習の成果を發揮し、次々と合唱や合奏を奏でると、会場いっぱいに詰め掛けた観客から拍手喝采を浴びていました。



賞状と受賞作品を紹介する三浦さん(左)と近藤さん(右)

## ☆図画で青小児童2名が受賞



江差海上保安署では、「未来に残そう青い海」をスローガンに、海洋環境保全活動の一環として、毎年「図画コンクール」を開催していますが、第8回目の今年、奥尻町から次のとおり、青苗小学校の児童2名が受賞されましたのでご紹介します。

### 【産経新聞社賞】（小学校高学年の部）

○三浦 はづきさん（青苗小学校5年）[写真左]

### 【江差海上保安署長賞】（小学校高学年の部）

○近藤 ちづるさん（青苗小学校5年）[写真右]

なお、2名の受賞者には、11月8日に横山謙二同署長〔写真中央〕から賞状が伝達されています。